【基盤研究(S)】 理工系(工学I)



研究課題名 痛みの分かる材料・構造の為の光相関領域法による 光ファイバ神経網技術の機能進化

ほたて かずお 東京大学・大学院工学系研究科・教授 保立 和夫

研究分野:工学

キーワード:計測システム,光ファイバセンサ,スマート材料・構造,分布型センシング

【研究の背景・目的】

光ファイバに沿う歪や温度の情報を伝搬光の属 性から分布測定する「光ファイバ神経網」を、ビ ル、橋、航空機翼等に張り巡らせることで「痛み の分かる材料・構造」を実現する研究が活発であ る。しかし、従来開発されてきた時間領域法など では、空間分解能や測定時間等が不十分であった。 これに対し研究代表者らは、光源の周波数や光 波位相等を変調して干渉特性を任意に合成する 「光相関領域法」を発明し、従来技術を凌ぐ性能 を発現できる種々の「光ファイバ神経網」を提案・ 開発した。学術創成研究費(04~08 年度)を得て、 mm オーダの空間分解能、kHz のサンプリング速度、 ランダムアクセス性等の機能を達成した。

本研究では、一本の光ファイバでの歪と温度の 高精度・同時・分布計測や、分布情報全体の動的 測定等、より高次の機能を独自新手法にて実現し、 「光ファイバ神経網」に「機能進化」をもたらす。

【研究の方法】

- 以下の4サブテーマを併進させる。
 1. BOCDA 法の機能進化
 *温度と歪の高精度・同時・分布計測技術
 *分布情報全体のダイナミック測定
- ブリルアン散乱センシングシステムの進化 *BOCDR 法の高機能化

*S-BOCDA 法の機能進化 3. 長尺 FBG 歪センサの多点化技術

- 4. 上記光ファイバ神経網技術を実装した「進化
- した痛みの分かる材料・構造」の実現

【期待される成果と意義】

BOCDA 法は、「光相関領域法」により誘導ブリル アン散乱を光ファイバ中の特定の位置でのみ発生 させ、その位置を掃引する独自分布測定技術であ る。本散乱の周波数シフトの温度と歪依存性によ って「光ファイバ神経網」を実現する。最近、偏 波維持光ファイバの一偏波モードによる誘導ブリ ルアン散乱と直交偏波光が示すブラッグ反射の両 周波数シフトの温度と歪への依存性が異符号であ ることを見出した。本原理により、世界初の温度/ 歪高精度・同時・分布計測を実現し(図1)、理論 的性能限界も明確化する。また、BOCDA 法に新測 定原理を導入して全歪分布の高速測定も実現する。

自然散乱を活用して被測定光ファイバの一端か ら入射した光のみで歪分布センシングを実現する 独自の BOCDR 法では、既に時間領域法を数桁凌ぐ 測定速度と空間分解能を実現した。本研究では歪 精度の向上を図り、理論的性能限界を明確化する。 誘導散乱の発生に必要なポンプ・プローブ両光を 時分割発生させる低価格化 BOCDA 技術においては、 その高速測定機能をさらに進化させる。

約10cmの長尺光ファイバグレーティング内の ブラッグ波長変化を「光相関領域法」で分布測定 する独自技術では、長尺 FBG を光ファイバに沿っ て多点配置する新たな構成を提案・実現する。

上記の光ファイバ神経網技術を航空機用カーボ ンファイバ樹脂や鉄骨構造等に実装し、「進化した 痛みの分かる材料・構造」を実現する。これら新 たな光ファイバ神経網によって、交通、土木、通 信等の分野において、各種の社会基盤の安全・安 心を高めるとともに、その稼働年月の延伸にも寄 与することで持続可能社会の実現にも貢献する。



図1 温度/歪高精度・同時・分布計測の基礎実験

【当該研究課題と関連の深い論文・著書】

- W. Zou, Z. He and K. Hotate, "Correlationbased distributed measurement of dynamic grating spectrum generated by stimulated Brillouin scattering in a polarizationmaintaining optical fiber," Opt. Lett., vol. 34, pp. 1126-1128, 2009.
- K. Hotate and K. Kajiwara, "Proposal and experimental verification of Bragg wavelength distribution measurement within a long-length FBG by synthesis of optical coherence function," Opt. Exp., vol. 16, pp. 7881-7887, 2008.

【研究期間と研究経費】

- 平成21年度-25年度
 - 156,800千円

ホームページ等

http://www.sagnac.t.u-tokyo.ac.jp/